

エコアクション21

環境経営レポート

(レポートの対象期間：2023年1月～2023年12月)

第5版



サオサス 株式会社

発行日 2024年3月22日

《 目次 》

1. 組織の概要	P-1～2
2. 認証・登録の対象範囲	P-3
3. 環境経営方針	P-4
4. 環境経営目標	P-5
5. 環境経営計画	P-6
6. 環境経営目標の実績	P-7
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の取組内容	P-8～10
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反 訴訟などの有無	P-11
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-12
10. 資料 環境活動への取組内容	P-13～19



1. 組織の概要

事業所名 サオサス株式会社

代表者名 代表取締役 和田 茂也

所在地 〒869-1113
熊本県菊池郡菊陽町花立三丁目11番3号

環境管理責任者 上島 和樹

事務局担当者 酢田 利子

連絡先 TEL 096-339-3511

FAX 096-339-3512

E-mail wada@saosas.jp

事業内容 LED 照明、インターホンシステム、監視カメラ、ボタン電話システム、CATV、
携帯電話基地局、イオナイザー、LAN 構築、光ファイバー、宅配ボックス等
(企画・調査・設計・提案・施工)

許可内容 許可番号 熊本県知事許可（特-2） 第14802号

許可の有効期限 令和6年4月12日から令和11年4月11日

建設業の種類 電気工事業、土木工事業、舗装工事業

許可番号 熊本県知事許可（般-31） 第14802号

許可の有効期限 令和6年4月12日から令和11年4月11日

建設業の種類 電気通信工事業、消防施設工事業

事業年度 8月～翌年7月末

事業規模 会社設立 平成1年4月27日

社名変更 平成29年8月1日

資本金 2,000万円（令和2年8月 増資）

	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度
売上高	万円	117,13	106,71	131,78
従業員数	人	12	12	12
事務所 床面積	㎡	247	247	247
資機材 置場面積	㎡	89	89	89

技術者（資格・免許）

第1種 電気工事士	高所作業車（10m 未満）
第2種 電気工事士	高所作業車（無制限）
1級 土木施工管理技士	第3級 陸上特殊無線技士
測量士補	甲種 火薬類取扱保安責任者
玉掛技能者	第2種 消防設備点検資格者
第2級 CATV 技術者	防犯設備士
工事担任者 デジタル1種	1級 電気工事施工管理技士
工事担任者 アナログ2種	建設業経理事務士 3級
工事担任者 DD3種	監理技術者
職長教育修了（安衛法第60条）	甲種第4類 消防設備士
TBM-KY トレーナー	乙種第6類 消防設備士
防火管理者	小型移動式クレーン
第2種 酸素欠乏危険作業主任者	低圧電気取扱業務特別教育修了
石綿取扱作業従事者の対する特別教育	

2. 認証・登録の対象範囲

認証・登録の対象範囲

サオサス株式会社 全組織・全活動

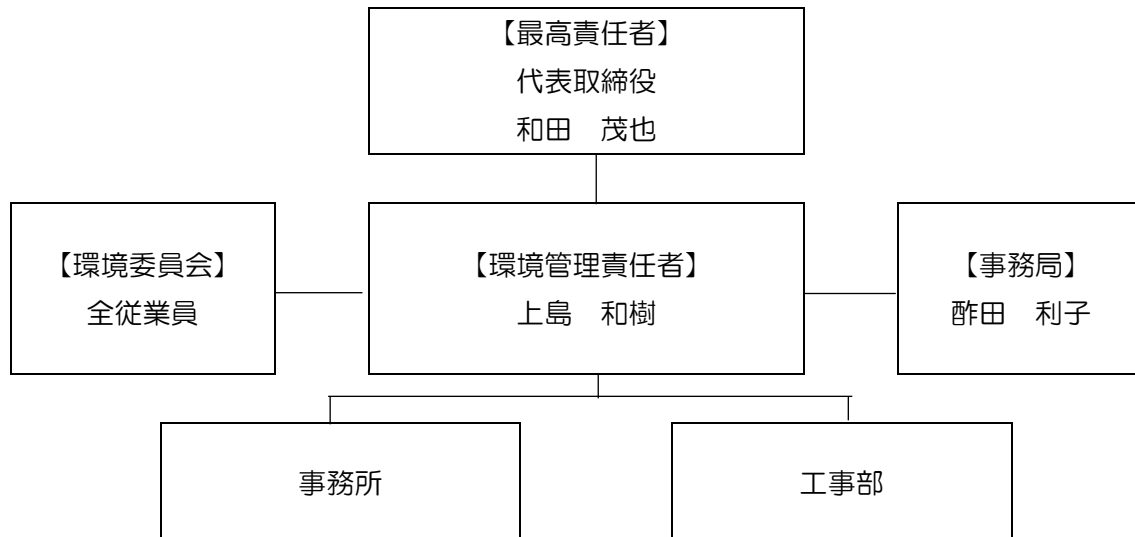
環境経営レポートの対象期間

令和5年1月1日から12月31日

環境経営レポートの発行日

令和6年3月22日

EA21 推進体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 和田 茂也】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人員・設備・費用等を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要な指示を行う。
環境管理責任者	【上島 和樹】 ①環境経営方針に基づく環境経営目標の設定及び進捗管理 ②エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ③エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、見直しのために構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【酢田 利子】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・全従業員で構成し、環境経営目標及び環境経営計画への積極的な参加と改善への意見提言をする。

3. 環境経営方針

[企業理念]

安心で快適な空間の創造

変化し続ける事への挑戦

[基本理念]

サオサス株式会社では、「安心で快適な空間の創造」を発想の原点とし、時流に棹差し変化し続けることを止めず、明日の暮らしを照らしていくため、限りある資源を有効に活用し、環境負荷の低減を図り環境保全活動に社員一同取り組みます。

[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 当社の事業（主に電気工事並びに電気通信工事）において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。

- ① 本社事務所、車両、建設機械装置の燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
- ② 本社事務所、各現場において、産業廃棄物及び一般廃棄物（燃えるごみ）排出量削減に努めます。
- ③ 節電、節水に努めます。
- ④ 事務所用品等のグリーン購入の促進に努めます。
- ⑤ 周辺道路清掃など、環境美化活動を通して環境への配慮に努めます。
- ⑥ SDGs への取り組みをおこないます。

6-1 すべての人に健康と福祉を

社内排出のペットボトルキャップを関係機関へ寄付し、ワクチンを届けます。

プルタブを集め、プルネットを通し車いすの寄付に貢献します。

6-2 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

市場に向け LED 普及の提案・施工を行います。

宅配ボックスの普及に貢献し、宅配業者の再配達を削減し Co2 削減に繋がります。

6-3 気候変動に具体的な対策を

排出ゴミを減らし再生可能資源をリサイクルします。



2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し取組策定した経営目標・経営計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。

3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。

4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識向上を図ります。

制 定 日 2019年7月22日

最終改定日 2020年6月9日

2024年3月22日

サオサス株式会社 代表取締役 和田 茂也

4. 環境経営目標

環境経営方針を踏まえて、下記の５項目について環境経営目標を設定した。

なお、削減目標は 2018 年度をベースに毎年 1 %の削減で設定した。

環境目標	単位	2019年度	2023 年度 (1 月～12 月)	2024 年度 (1 月～12 月)	2025 年度 (1 月～12 月)
		基準年度	目標	目標	目標
1 二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	25,295	23,387 (4%)	23,153 (5%)	22,921 (6%)
1-1 電力使用量の削減	kWh	6,947	6,713 (4%)	6,645 (5%)	6,578 (6%)
1-2 ガソリン使用量の削減	L	8,077	7,650 (4%)	7,573 (5%)	7,497 (6%)
1-3 軽油使用量の削減	L	1,138	953 (4%)	943 (5%)	933 (6%)
1-4 灯油使用量の削減	L	147	138 (4%)	136 (5%)	134 (6%)
2 一般廃棄物（燃えるごみ）の削減	kg	実績値なし	実績値 (4%)	実績値 (5%)	実績値 (6%)
産業廃棄物の削減	t	1.06	1.01	1.00	0.99
3 水の使用量の削減	m3	191	183	181	179
4 グリーン購入の推進	%	52	72	77	82
5 社会貢献活動に関する取組み	回	1 回	1 回	1 回	1 回
6 LED 工事件数	件	15	17	19	21
7 宅配ボックス工事件数	件	—	5	6	7

※（ ）内の数値は、基準年度の実績に対する削減率を示す。

※購入電力のCO2 排出係数は、九州電力の平成30年度の係数0.462 kg/kwhを用いた。

※基準年度（2018 年）に計測中であった 2019 年実績値を追加したため、より精細な 2019 年度実績を基準年度として設定した。

CO2 排出量＝（1-1）×0.462+（1-2）×0.0671×34.6+（1-3）×0.0687×38.2+
（1-4）×0.0679×36.7

5. 環境経営計画

改善取組事項			具体的取組内容	担当部門
1 二酸化炭素 総排出量の削減	1-1	電力使用量の削減	・空調温度管理の実施 (冷房 28℃ 暖房 21℃)	事務所
			・不要電力の消費を抑制する	
			・退社時に、プリンターの電源を切る	
			・不要照明の消灯	
	1-2	ガソリン使用量の削減	・エコ運転の実施	全体
			・始動時の長時間アイドリングは止める	
			・タイヤの空気圧をこまめに点検する	
	1-3	軽油使用量の削減	・エコ運転の実施	工事部 (現場)
			・始動時の長時間アイドリングは止める	
			・タイヤの空気圧をこまめに点検する	
			・作業車の不使用時電源オフ ・作業車の効率的運転の工夫	
	1-4	灯油使用量の削減	・空調温度管理の実施(暖房 21℃)	事務所
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物 (燃えるごみ)の削減	・分別排出を徹底する ・両面印刷、ミスコピーの再利用	事務所
		産業廃棄物の削減	・産業廃棄物の適正処理とリサイクルの促進	工事部 (現場)
3	水の使用量の削減		・節水に努める	事務所
4	グリーン購入の推進		・購入対象商品を把握する ・従来品と購入対象商品との価格比較 ・購入品目の選定、促進	事務所
5	社会貢献活動に関する取組み		・自主的な会社周辺等の清掃活動をする	全体
6	LED 工事普及活動		・不動産会社(マンション共用部)に対し 営業を行いLED 普及活動をする。	営業 工事部
7	宅配ボックス工事普及活動		・不動産会社に対し営業を行い宅配ボックス 普及活動をする。	営業 工事部

6. 環境経営目標の実績

環境目標		単位	2019 年度	2023 年度 (1 月～12 月)		達成率%
			基準年度	目標	実績	
二酸化炭素総排出量の削減		kg -CO2	25,295	23,387	28,003	83.5%
1	1-1 電力使用量の削減	kwh	6,947	6,713	7,257	92.5%
	1-2 ガソリン使用量の削減	L	8,077	7,650	9,955	76.8%
	1-3 軽油使用量の削減	L	1,138	953	456	208.9%
	1-4 灯油使用量の削減	L	147	138	144	95.6%
2	一般廃棄物（燃えるごみ）の削減	kg	—	194	182.6	106.2%
	産業廃棄物の削減	t	1.06	1.01	4.73	21.4%
3	水の使用量の削減	m3	191	183	56	326.8%
4	グリーン品購入の推進	%	52	72	75	104.2%
5	社会貢献活動に関する取組み	回	1 回	1 回	1 回	100%
6	LED 工事件数	件	15	17	20	117%
7	宅配ボックス工事件数	件	-	5	7	140%

※2023 年度の目標値は、2019 年度の同 1～12 月の実値の 3%減です。

※一般廃棄物については、実績データ計測完了の為、今回より追記

※購入電力の CO2 排出係数は、九州電力の平成 30 年度の係数 0.462 kg/kwh を用いています。

Co2 排出量＝(1-1) ×0.462+ (1-2) ×0.0671×34.6+ (1-3) ×0.0687×38.2+ (1-4) ×0.0679×36.7

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

具体的取組内容	取組結果	評価	
		判定	是正・見直し等
二酸化炭素総排出量の削減	項目ごとにクリアできている項目もあるが全体では削減目標値に届かなかったので目標を達成できるように引き続き取り組む。	×	ガソリン使用量の削減を参照
電気使用量の削減	省エネ活動（昼休みの照明消灯、エアコン設定温度順守）により電力削減達成できた。	○	継続して実施する
ガソリン使用料の削減	ガソリン使用量増加については業務増加に伴い出張や繁忙期で移動が多くそれに伴い増加した。	×	エコドライブや不必要なアイドリングをしないよう再徹底する。
軽油使用量の削減	仕事増加により変動あるが目標は達成できた。	○	継続して実施する
灯油使用量の削減	冬季に増加傾向にあるが不必要時は電源をOFFにするように徹底した。	○	継続して実施する
空調温度管理の実施 (冷房 28℃ 暖房 21℃)	社内空調管理基準などを昨年度作成し取り組みを続けておこない昨年同様、空調管理をスムーズにおこなうことができた。	○	継続して実施する
不要電力の消費を抑制する	OA タップを導入し、こまめに電気を切れるようにした。	○	
退社時に、プリンターの電源を切る	複合機を 15 分使用しないと節電モードに設定。使用者が使用後に節電モードにするよう心掛けた。	○	
不要照明の消灯	昼休時及び不使用時部屋の消灯を実施した。	○	
エコドライブの実践	不必要なアイドリング、急発進・急加速運転の禁止し啓蒙資料を各車両に配布した。	○	継続して実施する
タイヤ空気圧チェック	点検時、給油時のチェック実施	○	
作業車の不使用時電源オフ	実施した。	○	
作業車の効率的運転の工夫	実施した。	○	
空調温度管理（暖房 21℃）	実施した。	○	継続して実施する
分別排出の徹底	実施した。	○	継続して実施する
コピー用紙の両面使用、ミスコピーの再利用	実施した。	○	
産業廃棄物の適正処理とリサイクルの促進	仕事量増加に伴い廃棄物が増加した。	×	リサイクルできるものは再利用する。

節水の周知徹底	社用車洗車時に、バケツなどを上手く使い節水に努めた。 朝礼等を通じて社員へ節水活動推進を周知した。	○	継続して実施する
事務文具等グリーン購入の推進	可能商品は購入を実施した。	○	継続して実施する
清掃活動の実施	担当者を決め、定期的に会社周辺等の清掃活動を実施した。	○	継続して実施する
エコキャップ活動への取り組み	JCV のエコキャップ活動に参加し社内排出の ペットボトルキャップを回収。合計 5500 個を再生プラスチック原料として提出した（昨年 1650 個） （SDGs 3.すべての人に健康と福祉を）	○	継続して実施する
市場への LED 照明機器の普及活動	計 20 施設の共用照明 LED 化を実施。 （SDGs 7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに）	○	継続して実施する
市場への宅配ボックス新設の普及活動	計 7 施設の宅配ボックス新設工事を実施。 （SDGs 7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに）	○	継続して実施する
リングブルの寄付活動	家庭及び社内で発生したリングブルを集め、社会福祉法人 菊陽町社会福祉協議会へ寄付し、地域福祉活動に貢献した。 （SDGs 3.すべての人に健康と福祉を）	○	継続して実施する。

次年度の取組内容（2024年）

改善取組事項			具体的取組内容	担当部門 責任者
1 二酸化炭素総排出量の削減	1-1	電力使用量の削減	・空調温度管理の実施 (冷房 28℃ 暖房 21℃)	事務所
			・不要電力の消費を抑制する	
			・退社時に、プリンターの電源を切る	
			・不要照明の消灯	
			・蛍光灯照明の適時 LED 化	
	1-2	ガソリン使用量の削減	・エコ運転の実施本社（営業所）	全体
			・始動時の長時間アイドリングは止める	
			・タイヤの空気圧をこまめに点検する	
	1-3	軽油使用量の削減	・エコ運転の実施	工事部 (現場)
			・始動時の長時間アイドリングは止める	
			・タイヤの空気圧をこまめに点検する	
			・作業車の不使用時電源オフ ・作業車の効率の運転の工夫	
	1-4	灯油使用量の削減	・空調温度管理の実施(暖房 21℃)	事務所
2	一般廃棄物（燃えるごみ）の削減		・分別排出を徹底する ・リサイクル物の有効利用	事務所
	産業廃棄物の削減		・産業廃棄物の適正処理とリサイクルの促進	工事部 (現場)
3	水の使用量の削減		・節水に努める	事務所
4	グリーン購入の推進		・エコマーク・グリーンマーク購入対象商品の購入促進	事務所
5	社会貢献活動に関する取組み		・自主的な会社周辺等の清掃活動をする	全体
6	LED 交換の推進		・省エネによる CO2 削減 (目標件数：21 件)	全体
7	宅配ボックス設置の推進		・再配達ロス軽減（CO2 削減） (目標件数：7 件)	全体

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約書の締結、保管基準、 知事への報告 マニフェストの管理・保存	○良 不良 2023.12
消防法	消防設備の設置及び定期的な点検	○良 不良 2023.12
騒音・振動規制法	騒音振動規制基準の遵守	今期間中 該当なし
オフロード法	工事で使用する建設機械	今期間中 該当なし
大気汚染防止法	資格取得者にての作業 飛散防止等の対策	○良 不良

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当事務所に適用される環境関連法規とその遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。また、その他関係各機関等からの指導、違反等の指摘や隣接する事業所及び近隣住民の方々からの苦情や訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

作成 令和6年3月22日

2・代表者による全体評価・見直し指示	弊社の事業内容として、LED 照明と宅配ボックスの普及を通じ、社会に環境貢献をしていくという目標を掲げている。 CO2 未達成になりましたが、工事増で移動が多かったのが要因となりましたが2023 年の工事実績では、LED 照明の普及で Co2 排出量 約 49tCo2 を削減。また、宅配ボックスの普及では 352 世帯を賄う数の宅配ボックスを設置。宅配ボックスに関しては、再配達による Co2 排出量を 79tCo2 削減できた計算となる。 合わせて、ペットボトルキャップの寄付、リングブルの寄付も実施できた。 引き続き、社会への環境貢献に向け社員一丸となって取り組んでいきたい。 令和6年3月22日 サオサス株式会社 代表取締役 和田 茂也		
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境経営方針	有・ 無	
	2 環境経営目標	有・ 無	
	3 環境経営計画	有・ 無	
	4 実施体制	有 ・無	1 年ごとに環境管理責任者を交代し環境に対する知識を高める。
	5 その他のシステム要素	有・ 無	
	6 その他（外部への対応）	有 ・無	SNS、ポスター等で、環境活動や社会貢献を周知させる。

資料

環境活動及び安全活動の内容(写真)

① 近隣環境活動



② トイレ人感センサースイッチへ変更



資料

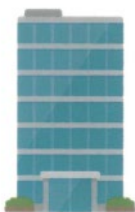
リングプルについて

寄付されたリングプルの仕組み

①皆様のご家庭にある缶の飲み物や缶詰についているリングプル(プルトップ・プルタブとも呼びます)を社会福祉協議会にお持ちください。



②一定量になりましたらソニーセミコンダクタマニュファクチャリングへお持ちします。



③ソニーさんが北海道にあるプルネットという団体へ集められたリングプルを送られます。



④プルネットから車いすに交換されソニーさんを通じて地域の団体等へ送られます。(交換にはリングプル500kg～800kgが必要になります)



受 領 証

サオサス株式会社 様

受領品

品 名
リングプル

上記のとおり受領いたしました。

地域福祉活動にご協力いただき感謝申し上げます。

令和5年5月25日

社会福祉法人菊陽町社会福祉協議会

会 長 吉 本 孝 寿



資料（JVC ペットボトルキャップ寄付証明書）

JCVペットボトルキャップ寄付証明書

2023年 2月 28日 ID 6012364

サオサス株式会社 さま

熊本県菊池郡菊陽町花立3丁目11-3

受領日	重量	寄付金額	ポリオワクチンで
2022/06/06-2022/10/06	6.0kg	18円	0.9人分
累 計	11.0kg	33円	1.65人分

ご寄付はワクチンにかえて開発途上国の子どもたちへ届けます。
ご支援に心より感謝申し上げます。

お知らせ

書き損じはがきの回収にご協力ください
たった1枚のはがきでBCGワクチン2人分とポリオワクチン1人分を届けられます

集めているもの

書き損じはがき
未使用はがき
郵便はがきや年賀はがき
額面の古い50円などもOK

未使用切手
使用済み切手
使用済み切手は消印を
含むように周りをざつ
りと切ってください

全国共通ギフト券
旅行券、ビール券
図書券、株主優待券
収入印紙、新幹線、回数乗車券

外国紙幣
※外国コインは
集めていません

未使用・使用済みの
テレホンカード
未使用プリペイドカード

ダイヤ、宝石、真珠、金、銀
プラチナ製の貴金属、腕時計
真珠のネックレス

封筒などに入れて、郵便体までお送りください

JCV

認定NPO法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会

www.jcv-jp.org

資料

環境活動取組の内容(エコキャップ受領書)

サオサス 株式会社 様

受領日 2023年1月26日

ご住所: 〒869-1113 熊本県菊池郡菊陽町花立3丁目11-3
TEL: 096-339-3511
FAX: 096-339-3512

エコキャップ
受領書

合計受領個数 2,200 個

品目	数量	重量	1kgに相当する個数	備考
エコキャップ	4	kg	約550個	2,200

JCVタイプアップ企業
株式会社 木村 九州事業部
〒861-4204
熊本県市南区城南町下宮地875-1
TEL:0964-33-9642

この度は御意あるエコキャップ運動にご賛同頂きありがとうございました。
ご提供頂いたエコキャップは自社工場にて再生プラスチック原料としてリサイクル致します。
また再生プラスチック原料として換金し、NPO法人 世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)へ
寄付いたします。

【世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)が行っていること】
①贈る→ワクチンの提供
JCVでは、支援先国からの要請に基づき書き損じはがきを回収し、ワクチンに換え、子どもたちに届けます。
②広める→ワクチンについての啓発活動
JCVでは、感染症の蔓延やワクチンによる予防効果などを伝える事を主として、その国の国語を伝える力を広げ、国際支援や
寄付文化、ボランティア活動への理解を深めることを目指して、日本国内で様々なイベントを開催しています。
③未来につなげる→子供の未来につながる その他の支援
JCVではこれまでに、ミンマー・サイクロン、夏日本大震災などにおいても、子どもたちを支援した緊急支援活動を行っています。
世界中にワクチンを必要とする子どもがいます！今後ともご支援下さい。

資料

環境活動取組の内容(エコキャップ受領書)

サオサス 株式会社 様

受領日 2023年8月30日

ご住所: 〒869-1113 熊本県菊池郡菊陽町花立3丁目11-3
TEL: 096-339-3511
FAX: 096-339-3512

エコキャップ
受領書


JCVは環境キャップ「ワタシちゃん」
JCVタイアップ企業
株式会社 木村 九州事業部
〒861-4204
熊本市南区城南町下宮地875-1
TEL: 0964-53-9642

合計受領個数 1,650 個

品目	数量	単位	1kgに相当する エコキャップ個数	備考
エコキャップ	3	kg	約550個	1,650

この度は善意あるエコキャップ運動にご賛同頂きありがとうございました。
ご提供頂いたエコキャップは自社工場にて再生プラスチック原料としてリサイクル致します。
また再生プラスチック原料として換金し、NPO法人 世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)へ
寄付いたします。

【世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)が行っていること】
①贈る〜ワクチンの提供
JCVでは、支援先国からの要請に基づき皆さまから寄せられたあたたかいご寄付をワクチンに換え、子どもたちに届けています。
②広める〜ワクチンについての啓発活動
JCVでは、感染症の実態やワクチンによる予防効果などを伝える事はもちろん、それらの活動を支える力を広げるべく、国際支援や
寄付文化、ボランティア活動への理解を深めることを目指して、日本国内で様々なイベントを開催しています。
③未来につなげる〜子供の未来につながる その他の支援
JCVではこれまでに、ミャンマー・タイロン、東日本大震災などにおいても、子どもたちを対象とした緊急支援活動を行っています。
世界中にワクチンを必要とする子どもがいます！今後ともご支援下さい。

サオサス 株式会社 様

受領日 2023年11月27日

ご住所: 〒869-1113 熊本県菊池郡菊陽町花立3丁目11-3
TEL: 096-339-3511
FAX: 096-339-3512

エコキャップ
受領書


JCVは環境キャップ「ワタシちゃん」
JCVタイアップ企業
株式会社 木村 九州事業部
〒861-4204
熊本市南区城南町下宮地875-1
TEL: 0964-53-9642

合計受領個数 1,650 個

品目	数量	単位	1kgに相当する エコキャップ個数	備考
エコキャップ	3	kg	約550個	1,650

この度は善意あるエコキャップ運動にご賛同頂きありがとうございました。
ご提供頂いたエコキャップは自社工場にて再生プラスチック原料としてリサイクル致します。
また再生プラスチック原料として換金し、NPO法人 世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)へ
寄付いたします。

【世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)が行っていること】
①贈る〜ワクチンの提供
JCVでは、支援先国からの要請に基づき皆さまから寄せられたあたたかいご寄付をワクチンに換え、子どもたちに届けています。
②広める〜ワクチンについての啓発活動
JCVでは、感染症の実態やワクチンによる予防効果などを伝える事はもちろん、それらの活動を支える力を広げるべく、国際支援や
寄付文化、ボランティア活動への理解を深めることを目指して、日本国内で様々なイベントを開催しています。
③未来につなげる〜子供の未来につながる その他の支援
JCVではこれまでに、ミャンマー・タイロン、東日本大震災などにおいても、子どもたちを対象とした緊急支援活動を行っています。
世界中にワクチンを必要とする子どもがいます！今後ともご支援下さい。

資料

消防署からお越し頂き、火災対策についてご講話を頂きました。



資料

環境活動取組の内容(LED 照明工事 実施データ)

※リニューアル時にお客様へ提案した経済比較データより抜粋

		施工前	施工後	Co2削減量
2023/1	熊本市中央区	932.7	284.3	648.4
2023/02	熊本市北区	2190.5	760.8	1429.7
2023/03	熊本市西区	4456.9	1680.2	2776.7
2023/03	熊本市西区	487.5	37.6	449.9
2023/04	熊本市北区	1783	564.9	1218.1
2023/04	熊本県八代市	1850	519.2	1330.8
2023/06	熊本市西区	7122.8	2083.1	5039.7
2023/06	熊本市中央区	2973.6	994.31	1979.29
2023/06	熊本市北区	2230	1032.9	1197.1
2023/07	熊本市中央区	178.5	66.1	112.4
2023/08	熊本市中央区	6692.5	2589	4103.5
2023/10	熊本市西区	16201.7	4496.9	11704.8
2023/11	熊本市中央区	7998.3	2096.1	5902.2
2023/11	熊本市中央区	4815.4	2285.8	2529.6
2023/12	熊本市西区	12522.6	4010.5	8512.1
		単位:Kg		
総排出削減量：48934.29KgCO2				

実施時期	実施場所	世帯数
2023/1 月	熊本市中央区	48 戸
2023/1 月	熊本市中央区	41 戸
2023/3 月	熊本市南区	25 戸
2023/4 月	熊本市西区	37 戸
2023/4 月	熊本市北区	113 戸
2023/6 月	熊本市南区	46 戸
2023/7 月	熊本市中央区	6 戸
2023/9 月	熊本市中央区	9 戸
2023/9 月	熊本市中央区	27 戸

総世帯数 352 世帯



1回で受け取りませんか

再配達によって排出される CO₂ は年間 42 万トンあり、東京ドーム約 170 杯分に相当
 36 億個×0.58 km/個×25%×1 t×0.8 kg-CO₂/t・km=42 万 t-CO₂

42 万 t-CO₂

×

1 億 2614 万 6000（全人口）÷352（導入世帯数）×2.2（全国平均世帯人数）

= 79 t-CO₂ の削減に貢献

※計算式の出典は、国土交通省/総務省統計局/地球温暖化防止推進センター/東京ドームシティ公式HPより